

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和4年9月2日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	横浜川崎国際港湾株式会社
所 在 地	横浜市西区みなとみらい2-3-1 クイーンズタワーA棟14F
代表者役職・氏名	代表取締役社長 人見 伸也（担当：陳）
担当者連絡先	電話：045-680-6582 メール：kikaku@ykip.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.ykip.co.jp/company/#sdgs

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

弊社は京浜港（横浜港・川崎港）の運営会社として、横浜港・川崎港のコンテナターミナルの一体的な管理・運営をはじめ、コンテナ船の大型化に対応した施設整備等を進めている。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	<ul style="list-style-type: none">効率性や利便性が高く、競争力のあるコンテナふ頭群の整備・運営コンテナ埠頭群の整備等を通じた、災害等のリスクに強く、環境にやさしい港づくり	<p>○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備</p> <p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none">本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手 <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none">本牧ふ頭D5ターミナル再整備：供用南本牧ふ頭ターミナル拡張：供用新本牧ふ頭ターミナル整備：整備中

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・人権研修を実施している。 ・内部通報窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・人権研修を実施している。 ・ハラスメントを禁止するコンプライアンス制度を設けるとともに、内部通報窓口を設置している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・経営陣が従業員の労働時間を確認している。								8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・人権研修を実施している。 ・内部通報窓口を設置している。				4.4				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全衛生委員会を実施し、労働環境の改善に取り組んでいる。		3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・メンタルヘルスチェックを実施している。		3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・育児関連休暇・在宅勤務・時差出勤を制度化し、従業員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。			5.1 5.5			8.5	10.2 10.3									
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・内部研修を実施するとともに、外部研修への参加を促し、人材育成に取り組んでいる。			4	5.5		8	9									
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5		8.5	10.2 10.3									
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・安全衛生委員会を実施し、労働環境の改善に取り組んでいる。		3				8										
	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・施設整備等に伴う廃棄物の処理を適切に行うほか、建設発生土を適切に管理し、場内再利用を推進している。										11.6 12.4 12.5		14.1				
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている							7.3					13					
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・太陽光発電パネルの設置やLED照明を導入している。 ・陸電施設や電気供給式RTG導入に向けた検討を行っている。					7.2 7.3				12.4 13.3							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる					3.9				6.3				11.6	12.4			
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している									6.6							15	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・南本牧コンテナターミナル管理棟へ雨水利用システムを導入している。							6.4									
	【環境マネジメントシステム】 ・IS014001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15	
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している														12.6			
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・当社が管理しているターミナルの電力は再生可能エネルギー由来の電力を利用している。							7.2					13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・建設発生土を適切に管理し、場内再利用を推進している。												12.2	13	14	15	
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9										12.4			
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している										9							
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	建築建物内部に使用する材料等は、ホルムアルデヒドの放散量の区分に応じた材料を使用し、接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用するなど、環境に配慮した材料としている。						6						12	13	14	15	
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・太陽光発電パネルの設置やLED照明を導入している。 ・陸電施設や電気供給式RTG導入に向けた検討を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15	17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・地域団体や地域活動に対して、寄付等を行っている。				4							11			14	15	17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・市内企業への積極的な発注に取り組んでいる。								8	9		11	12	13			

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
			1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・中期経営計画を策定し、従業員に周知している。									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	・内部統制システム構築の基本方針やコンプライアンス規則を制定している。 ・コンプライアンス研修を実施している。																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	・担当部署を定めている。																16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・内部統制システム構築の基本方針、コンプライアンス規則、リスク管理規則を制定している。																16 17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・内部統制システム構築の基本方針、コンプライアンス規則、リスク管理規則を制定している。																16
	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	・中期経営計画を策定し、社会貢献に取り組んでいる。																16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・防災計画、BCPを策定している。									9	11	13.1					16
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和5年10月10日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズ
タワーA棟 14F

名 称： 横浜川崎国際港湾株式会社

代 表 者： 代表取締役社長 人見 伸也

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	・効率性や利便性が高く、競争力のあるコンテナ埠頭群の整備・運営 ・コンテナ埠頭群の整備等を通じた、災害等のリスクに強く、環境にやさしい港づくり	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【現状】 <ul style="list-style-type: none">・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手 【目標】 <ul style="list-style-type: none">・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：供用・南本牧ふ頭ターミナル拡張：供用・新本牧ふ頭ターミナル整備：整備中	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【進捗】 <ul style="list-style-type: none">・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手

(様式第4号)

令和6年9月26日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズ
タワーA棟 14F

名 称： 横浜川崎国際港湾株式会社

代 表 者： 代表取締役社長 人見 伸也

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	・効率性や利便性が高く、競争力のあるコンテナ埠頭群の整備・運営 ・コンテナ埠頭群の整備等を通じた、災害等のリスクに強く、環境にやさしい港づくり	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【現状】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手 【目標】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：供用 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：供用 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：整備中	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【進捗】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手

(様式第4号)

令和7年11月4日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズ
タワーA棟 14F

名 称： 横浜川崎国際港湾株式会社

代 表 者： 代表取締役社長 中井 拓志

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	・効率性や利便性が高く、競争力のあるコンテナ埠頭群の整備・運営 ・コンテナ埠頭群の整備等を通じた、災害等のリスクに強く、環境にやさしい港づくり	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【現状】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手 【目標】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：供用 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：供用 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：整備中	○我が国最高水準のコンテナターミナルの整備 【進捗】 ・本牧ふ頭D5ターミナル再整備：整備中 ・南本牧ふ頭ターミナル拡張：未着手 ・新本牧ふ頭ターミナル整備：未着手